

岡倉天心研究の現在

—天心が目ざしたヴィジョンを探る—

岡倉天心（本名：覚三、1863～1913）は、東京美術学校、日本美術院を創設し、近代日本画の確立をリードしました。同時に古美術の保存にも力を尽くしています。ボストン美術館に勤務すると、その近代化に寄与し、『茶の本』を著して、世界に日本文化の奥深さを紹介しました。50年という短い生涯の中で、彼が目ざしたものは何だったのかを再確認したいと思います。



講師

小泉 晋弥

茨城県天心記念五浦美術館 館長

2025
9/20(土)
14:00～16:00
茨城県立図書館視聴覚ホール

1953年福島県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了。いわき市立美術館学芸員、郡山市立美術館学芸員を経て、2019年まで茨城大学教育学部教授。2022年より茨城県天心記念五浦美術館館長。茨城大学名誉教授。美術評論家連盟会員。美術史学会会員。文化資源学会会員。茨城地方史研究会員。飯村丈三郎研究会員。

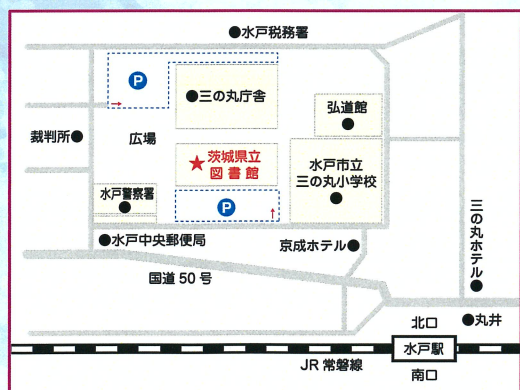
【主な著書】

『新訂増補 岡倉天心と五浦』中央公論美術出版 2021年

『伊藤公象作品集』ときの忘れもの 2023年

入場無料

- ◆開場時間は13時になります。開場前に会場付近へのお並びはご遠慮ください。
- ◆事前の申し込みは必要ありません。どなたでもご自由にお聞きいただけます。（ただし先着160名）
- ◆できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ◆お車の場合は、三の丸庁舎(旧県庁舎)駐車場をご利用ください。



〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番地38号

お問い合わせ

放送大学茨城学習センター

TEL:029-228-0683

〒310-0056 水戸市文京2-1-1（茨城大学構内）



主催：放送大学茨城学習センター
茨城県立図書館